

専門科目 産業環境保健学

(専門職学位課程)

科目名	産業環境保健学実習	code number : OEH 383	選択	2 単位
-----	-----------	--------------------------	----	------

科目責任者	津田 洋子 講師						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏期	曜日・時限	(個別設定)	授業方法	実習

1. 授業の概要

4日間を実習日とする。
 初日の午前、「職場巡視」とは何か、「安全衛生委員会」とは何か、「職場巡視」における事前準備、当日の視点およびツールの利用方法の講義を行う。
 初日の午後、第2日目、第3日目にいくつかの職場を対象として「職場巡視」を行う。
 最終日の第4日目は、午前中に職場巡視を行った職場ごとにグループの意見をまとめ、模擬安全衛生委員会で各職場での課題に対する対策を決定する。午後に、職場巡視を行った職場ごとで、職場巡視対象職場に対するレポートをまとめ、総合討論を行う。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 産業環境保健学概論の講義で学んだ成果を活かす場として実際の現場を巡視し、環境を評価・改善するための視点を獲得し、実践力を磨き、現場の問題解決のための提案ができる。

【行動目標(SBO)】

1. 「職場巡視」の事前準備ができて、当日の視点を説明できる。
2. 「職場巡視」で現場の問題点を発見し問題解決の対策を考えられる。
3. 「安全衛生委員会」を理解し、運営することができる。
4. 「職場巡視」対象職場に対策提言ができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) レポート(60%)
- (2) 発表(30%)
- (3) 実習中の主体的学習態度(10%)
- (4) レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・原則として講義資料を使用する。

5. 参考書

・中央労働災害防止協会. 労働衛生のしおり, 中央労働災害防止協会. 2019.

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・中央労働災害防止協会の『労働衛生のしおり』の作業環境管理の章を事前に読んでおく。
- ・安全衛生委員会や職場巡視などの実習時に必要な組織や方法について理解しておく。
- ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・レポートに対し、講義の中あるいは個別に解説等のフィードバックを行い、再提出を求める場合がある。
- ・最終レポートは実習先に提出することを予定していることを踏まえてまとめる。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

産業環境保健学実習

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/31(月)	1	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視とは何か, 安全衛生委員会とは何か, チェックリストの使い方
2	8/31(月)	2	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視とは何か, 安全衛生委員会とは何か, チェックリストの使い方
3	8/31(月)	3	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視A
4	8/31(月)	4	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視A
5	9/1(火)	1	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
6	9/1(火)	2	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
7	9/1(火)	3	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
8	9/1(火)	4	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	職場巡視B、C
9	9/7(月)	1	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
10	9/7(月)	2	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
11	9/7(月)	3	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
12	9/7(月)	4	福田 吉治 宮本 俊明 渋谷 克彦 教授 講師(非) 講師	職場巡視D、E
13	9/8(火)	1	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	A～E職場についての模擬安全衛生委員会
14	9/8(火)	2	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	A～E職場についての模擬安全衛生委員会
15	9/8(火)	3	福田 吉治 津田 洋子 渋谷 克彦 教授 講師 講師	全体討論